



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 針生 敦司 TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	8,275	6.6	379	△57.0	410	△70.2	287	△72.2
28年3月期第1四半期	7,762	2.4	883	△25.5	1,377	△11.1	1,032	△17.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △517百万円 (△131.7%) 28年3月期第1四半期 1,633百万円 (△1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.06	—
28年3月期第1四半期	18.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	78,191	68,559	87.7
28年3月期	80,218	69,815	87.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 68,559百万円 28年3月期 69,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,550	△4.6	1,000	△53.4	3,350	△4.3	2,550	△1.1	45.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は平成28年6月15日開催の取締役会において、自己株式の取得をすることを決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、『添付資料』P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	56,814,093株	28年3月期	58,584,093株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	9,510株	28年3月期	1,779,510株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	56,804,583株	28年3月期1Q	56,805,040株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成28年7月28日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）の売上高は、円高や国内における薬価引き下げの影響を受けた一方で、海外医薬品の数量増や、国内医薬品の前倒し出荷があったことなどにより、前年同期と比べ6.6%増の82億7千5百万円となりました。

利益につきましては、円高や薬価引き下げに伴う原価率の上昇に加え、米国における腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603のオープン試験進展に伴い研究開発費が大幅に増加したことなどから、営業利益は57.0%減の3億7千9百万円となりました。投資有価証券売却益の減少や、円高進行に伴う保有外貨建資産の為替評価損などにより、経常利益は70.2%減の4億1千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は72.2%減の2億8千7百万円となりました。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

- ・国内医薬品（46億5千9百万円、前年同期比6.2%増）

関節機能改善剤アルツは、市場全体が微増で推移するなか、新容器の市場投入に加え、販売提携先の拡販努力もあり、医療機関納入本数が増加しました。当社売上は、薬価引き下げの影響を受けた一方、販売提携先への前倒し出荷があり増加しました。

眼科手術補助剤オペガンは、厳しい競合環境が継続しており医療機関納入本数は微増に留まりました。当社売上は、薬価引き下げの影響を受け減少しました。なお、オペガンシリーズの製品ラインナップ強化を目的として、平成28年7月に眼科手術補助剤シエルガンを発売しました。今後、販売提携先の参天製薬株式会社とともに拡販を進めていきます。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、平成28年4月の販売提携先変更に伴う在庫積み増し等があり、当社売上は増加しました。

- ・海外医薬品（18億3千4百万円、同14.1%増）

米国における単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、販売提携先の営業体制拡充効果により、現地販売が引き続き増加しました。当社売上は、円高の影響を受けたものの、前年同期の出荷が低水準であったことから増加しました。引き続き、販売提携先の活動支援に注力し、更なる売上拡大を目指していきます。

5回投与の関節機能改善剤スパルツFXは、複数回投与製品の競合環境が引き続き厳しいことから、米国現地販売は微減となりました。当社売上は、前倒し出荷による数量増があった一方、円高の影響を受け微減となりました。

中国向けアルツは、政府の価格抑制策等による現地販売の減少に加え、円高の影響もあり、当社売上は減少しました。

- ・医薬品原体（2億7千5百万円、同14.3%減）

コンドロイチン硫酸は前年同期並みとなりましたが、ヒアルロン酸の競合が激しいことから減少しました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は67億7千万円（同7.2%増）となりました。

<LAL事業>

主に海外のエンドトキシン測定用試薬等が増加したことから、売上高は15億5百万円（同4.1%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

<参考：平成29年3月期連結業績予想>

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

売上高	29,550百万円（前期比 4.6%減）
営業利益	1,000百万円（同 53.4%減）
経常利益	3,350百万円（同 4.3%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	2,550百万円（同 1.1%減）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,511	5,918
受取手形及び売掛金	8,014	9,771
有価証券	5,755	3,213
商品及び製品	3,930	3,137
仕掛品	1,997	1,959
原材料及び貯蔵品	1,332	1,463
繰延税金資産	1,024	1,056
その他	1,708	846
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	31,269	27,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,644	22,557
減価償却累計額	△10,458	△10,601
建物及び構築物(純額)	12,186	11,955
機械装置及び運搬具	22,668	22,606
減価償却累計額	△13,576	△13,809
機械装置及び運搬具(純額)	9,091	8,797
土地	932	929
リース資産	185	172
減価償却累計額	△110	△92
リース資産(純額)	75	79
建設仮勘定	1,234	1,376
その他	5,101	5,154
減価償却累計額	△3,953	△4,047
その他(純額)	1,148	1,107
有形固定資産合計	24,668	24,246
無形固定資産		
その他	331	314
無形固定資産合計	331	314
投資その他の資産		
投資有価証券	23,185	22,904
長期貸付金	40	40
その他	771	3,372
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	23,949	26,269
固定資産合計	48,949	50,829
資産合計	80,218	78,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,809	1,750
1年内返済予定の長期借入金	285	285
リース債務	34	35
未払金	3,209	2,964
未払法人税等	379	83
賞与引当金	602	301
その他	369	764
流動負債合計	6,691	6,185
固定負債		
長期借入金	428	428
リース債務	51	56
繰延税金負債	1,269	1,052
退職給付に係る負債	855	839
資産除去債務	37	37
その他	1,068	1,031
固定負債合計	3,711	3,445
負債合計	10,403	9,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	59,379	56,857
自己株式	△2,081	△11
株主資本合計	66,439	65,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,682	3,111
為替換算調整勘定	579	286
退職給付に係る調整累計額	△885	△826
その他の包括利益累計額合計	3,375	2,571
純資産合計	69,815	68,559
負債純資産合計	80,218	78,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,762	8,275
売上原価	3,301	3,728
売上総利益	4,461	4,546
販売費及び一般管理費		
販売手数料	450	478
人件費	474	491
賞与引当金繰入額	79	82
退職給付費用	33	37
研究開発費	1,778	2,292
その他	761	784
販売費及び一般管理費合計	3,577	4,166
営業利益	883	379
営業外収益		
受取利息	21	15
受取配当金	95	118
為替差益	102	—
投資有価証券売却益	272	—
受取ロイヤリティー	—	50
その他	20	19
営業外収益合計	511	202
営業外費用		
支払利息	9	8
為替差損	—	144
固定資産除却損	7	—
その他	0	19
営業外費用合計	17	171
経常利益	1,377	410
税金等調整前四半期純利益	1,377	410
法人税、住民税及び事業税	317	152
法人税等調整額	27	△28
法人税等合計	345	123
四半期純利益	1,032	287
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032	287

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	1,032	287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	659	△571
為替換算調整勘定	△80	△292
退職給付に係る調整額	21	59
その他の包括利益合計	600	△804
四半期包括利益	1,633	△517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,633	△517
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月12日開催の取締役会決議に基づき、平成28年5月31日付で、自己株式1,770,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ2,070百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において利益剰余金が56,857百万円、自己株式が11百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,317	1,445	7,762	—	7,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,317	1,445	7,762	—	7,762
セグメント利益	572	311	883	—	883

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,770	1,505	8,275	—	8,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,770	1,505	8,275	—	8,275
セグメント利益	29	350	379	—	379

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。